

平成28年度 青谷学園事業計画書

概 要

地域社会への貢献と、ご利用者様に「生きがい」「満足」「感動」のある福祉サービスを提供するためにも、職員全員がチーム一丸となり、目的を一つに良い支援、良いサービスが提供できるように努める。

また、ベースアップの実施や、人事考課の本格的導入がされることから、職員の意欲醸成に向けた取り組みをする。

1 利用者支援

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第28条に定める生活介護並びに施設入所支援を提供する。

(1) 個別支援計画

直近のご利用者様の状況を反映した個別支援計画を作成する。通常の見直しは半年毎に行うが、高齢化が急速に進む利用者については必要に応じて都度見直しを行う。

(2) 日課

7:45～ 9:10	朝食 整容
9:10～10:00	朝の体操 整容 掃除
10:30～11:30	作業／創作／運動／ヨガ／音楽セラピー／クラブのいずれか
12:00～13:15	昼食
13:15～14:30	自由時間(土曜日はリハビリ)
14:30～17:00	入浴
17:45～19:00	夕食

(3) 月間予定

		日	月	火	水	木	金	土
1 週目	午前	余暇または作業	外出または作業	運動	外出またはクラブ	歯科往診 施設外理容	創作	シーツ交換
	午後	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	リハビリ 入浴
2 週目	午前	余暇または作業	施設内理容または作業	施設内理容またはヨガ	外出 余暇	歯科往診 またはクラブ	音楽セラピー または作業	シーツ交換
	午後	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	嘱託医往診 入浴	リハビリ 入浴
3 週目	午前	余暇または作業	外出 作業	施設内理容またはヨガ	外出 余暇	歯科往診 誕生日会	創作	シーツ交換
	午後	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	リハビリ 入浴
4 週目	午前	余暇または作業	作業	ヨガ	外出 クラブ	歯科往診 施設外理容	音楽セラピー または作業	シーツ交換
	午後	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	嘱託医往診 入浴	リハビリ 入浴

(5) 生活支援

ア 運 動

健康及び機能を少しでも維持・向上し、ストレス発散することを目的として運動を実施する。ホールやグラウンドで多くのご利用者様が興味を持って参加できるプログラムを提供する。

イ 作 業

自主製品である檜の芳香剤「ヒノッキオ」、「はっぴーキャンドル」、「ミサंगा」の製作・販売をする。利益はご利用者様に還元する。さらに魅力的な製品となるよう改良する。収益金はショッピングセンターの商品券に代えて分配する。

販売収入 40,000 円
材料費・配分 40,000 円

ウ 食 事

ご利用者様ひとりひとりの栄養・健康状況を把握し、それに沿った食事を提供する個別栄養管理を行う。治療食にも対応する。食材単価は、朝 190 円・昼 305 円・夕 335 円とする。

食材料費 21,500,000 円

エ 保 健

健康診断は9月と3月に実施する。嘱託医による定期診察を月2回、歯科医による訪問診療を週に1回設ける。

オ リハビリ

高齢化対策として、嘱託医師と理学療法士、看護師が連携をとり機能維持訓練を週1回実施する。今年度導入のリハビリ機器を使った訓練も始める。

カ 創作

「ものを創る」ことで自己表現するとともに楽しみの充実につなげる。手指を動かすことで老化防止の効果も期待できる。グループに分かれて実施する。

キ 行事

次の行事を開催する。毎月開催の誕生日会と夏祭り、新年パーティーは、ご家族様もお誘いし開催する。

行事活動費 300,000 円

8月	夏まつり
9月	敬老会
10月	レクリエーション大会 ハロウィンパーティー
12月	クリスマスパーティー
1月	新年パーティー
毎月	誕生日会

ク ヨガ

ひと月に2回、外部インストラクターによるヨガを実施する。ヨガの呼吸法を取り入れることでリラックス効果が期待できる。

ヨガ講師料 240,000 円

ケ 音楽セラピー

ひと月に2回、外部音楽講師によるセラピーを実施する。音楽を使って心身のリフレッシュを図る。

音楽セラピー講師料 240,000 円

コ 余暇時間

○ クラブ活動

次の2つのクラブの中から好きなクラブに参加できる。

- ・音楽クラブ：「なじみの歌を歌う」「音をならす・聞く」「音楽に合わせて体を動かす」などにより音楽を楽しむ。

・芸術クラブ：絵画、小物の制作、陶芸などを楽しむ。出展もする。

○ 移動販売

ひと月に1回程度、和菓子やクレープの専門業者による移動販売を開催する。

○ 外出

月2回、近隣の大型スーパーやボウリング、映画館など外出の機会を設ける(参加費用は自己負担)。この他、希望により週に3回コンビニへお連れする。

○ 旅行

日帰り、1泊2日、2泊3日の旅行の機会を提供する(参加費用は自己負担)。

2 職 員

(1) 人事考課

給与、賞与に人事考課を反映させる。人材育成に取り組む。人事考課者に考課者の評価に隔たらないよう習熟訓練を実施する。

(2) 職員教育

階層別役割一覧に基づき、施設内外の研修を組み合わせて効率的な職員教育を行う。介護福祉士の資格取得を勧めると共に、介護福祉士が主となり車いす利用者への適切な支援方法の施設内研修を実施する。

研修費 360,000 円

(3) 腰痛予防対策

職員の腰痛災害をなくすため、腰痛予防対策チームがさまざまな腰痛予防の提案や実践を行う。

(4) 職員採用

就職フェアの参加や就職情報サイトを利用して求人する。パート職員を積極的に活用し人材確保と人件費の抑制を図る。

サイト掲載費 1,036,800 円

就職フェア参加費 56,000 円

求人広告費 706,000 円

(5) 感染症対策

直接処遇する職員にインフルエンザ予防接種を行う。また、ノロ対策としては、調理員に対し冬期は通常の検便に加えてノロの検便も行う。

インフルエンザ予防接種費 154,000 円

検便検査料 300,000 円

(6) 一般事業主行動計画

家族の職場訪問を夏休み中に実施する。

開催費 120,000 円

3 安全対策

(1) リスクマネジメント

危機管理マニュアルの見直しを行う。ヒヤリ・ハットを含む事故を検証し、問題点の改善に努める。

(2) 危機管理

火災や震災を想定した訓練を定期的に行う。災害備蓄食料の点検と補充をする。また24時

間監視装置による警備警戒を業者に委託して行う。

災害用備品費	80,000 円
警備警戒費	142,560 円

4 地域貢献

次の福祉社会を担う人材養成のため、大学や短大、福祉専門学校の施設現場実習学生を受け入れる。

実習学生指導料収入	580,000 円
宿泊料収入	348,000 円

5 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用し情報公開や求人役に役立てる。

更新費 120,000 円

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族様向けの広報誌「しゃらら」を毎月発行する。

(3) 第三者評価受審

施設事業の透明性を確保するために第三者評価を受審する。

第三者評価受審 308,572 円

6 設備整備等

(1) 土地の等価交換により進入路の幅員を3メートル増やし9メートルとする。拡幅により歩道を設け舗装工事を行う。門柱の移設も行う。

測量登記等費用	550,000 円
舗装等工事	1,000,000 円

(2) リハビリ機器を京都府補助金事業として整備する。

機器整備費	570,000 円
補助金	285,000 円

(3) パソコンが不調なため11台を更新し、うち2台に福祉ソフト「見聞録」を入れる。

パソコン整備費	1,188,000 円
ソフト整備費	460,000 円
パソコン廃棄・設定料	600,000 円

7 家族との関わり

(1) 家族懇談会の開催

家族との個別懇談会とグループ懇談会を年に1回実施する。

(2) アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご家族様に対しアンケート調査を行う。

(3) 青谷学園サービス検討会の開催

職員と家族の会役員で構成する「青谷学園サービス検討会」を設置し、ご利用者様へのサービスに対するあり方について意見交換や検討を行う。